

令和2年3月9日

会員各位

岡山北西ロータリークラブ
社会奉仕委員長 鈴木 一生

○『あした彩』2月度活動状況について（FaceBook より転載）

今年度の社会奉仕事業として取り組んでおります「犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会『あした彩』」の今年度最後のリーダー会議が2月19日に開催されました。各大学の代表の方々が集まり、1年間の振り返りと今後の活動計画について話し合われた様子がFaceBookに掲載されましたのでご紹介させていただきます。また、裏面には2月14日に開催された川崎医療福祉大学、被害者支援ボランティアサークル「かみひこうき」主催の講演会の記事を転載しています。

○2月19日今年度最後のリーダー会議の記事

みなさんこんにちは。

2月19日（水）今年度最後のあした彩リーダー会議を開催しました。

各大学の代表の方々が集まり、1年間の振り返りと今後の活動計画について発表し合いました。

各大学で行われたシンポジウムの反省、あした彩活動の反省点等を振り返り、来年度に行われる予定のイベントについて意見を出し合いました。

今年度の振り返りとしては主に

- ・10月13日に参加致しました、「Wi11」（県外）
- ・11月24日に参加致しました、「犯罪被害者支援フォーラムinおかやま」
- ・1月19日に参加致しました、「京都産業大学フォーラム」（県外）
- ・各大学によるシンポジウム&講演会

などです。詳しい活動についてご興味お寄せ頂いた方は、あした彩 Facebook をご覧ください。

私たち「あした彩」がこのような活動が行えたのは、学生だけの思いだけではなく、それを支えて下さる地域の方々の協力があったからです。中でも岡山北西ロータリークラブの方々はあした彩に対し、多くの支援をして下さっています。本当に感謝しています。ありがとうございます。

あした彩がここまで大きく成長できたのもたくさんの方々の支援があるからです。

半端な気持ちで取り組んでは、私たちに信頼して下さっている方々、支援して下さっている方々に迷惑ですし、失礼です。私たち大学生がどこまで出来るのかわかりませんが、今、目の前にある問題、課題に全力で取り組むことはできます。

自分たちの活動に誇りを持ち、自信を持ち、来年度の目標に向けて取り組んでいこうと思います。今後も被害者の方々の心に寄り添った支援ができるように頑張ります。



○2月14日（金）川崎医療福祉大学での講演会の記事

2/14(金)に、川崎医療福祉大学にて「令和元年度おかやま大学生人権啓発パートナーシップ推進補助事業」として、毎日新聞大分支局より川名壮志様をお招きし、講演会を開催いたしました。

題目は「被害者支援の輪を広げる 子どもの人権を考えるー佐世保小六女児同級生殺害事件よりー」でした。

講演会は2部構成で実施し、前半では川名様に事件概要、実際の事件当時の状況等について写真を見せていただきながらお話を伺いました。後半では、各グループに分かれてのグループディスカッション、発表に取り組みました。

被害者支援活動に取り組むなかで

ご遺族や被害に遭われた方のお話をお伺いする機会はありませんでしたが、ご遺族の方を見守ってこられた方のお話をお伺いする機会が初めてで、たいへん学びの多い時間を過ごすことができました。

「同じ家族であっても、家族を事件や事故により奪われ、苦しむタイミングには時差がある。立場により苦しみ方は違う」と教えていただいたお言葉がたいへん印象に残りました。亡くなった子どものご兄弟の存在は見過ごされがちであると、これまでの支援活動でもお伺いする機会はありませんでしたが、それと同じくらい見過ごされがち事実ではないかと考えさせられました。

川名様のお話をお伺いし、「堅苦しく考えることなく、違うレベルで被害者やご遺族の方のそばにいる」支援をしていく重要性を教えてくださいました。

同時に、これまで「あした彩」が取り組んできた、子どもたちに寄り添った支援活動の意義を感じさせていただけただ講演会となりました。今後も、存在の在り方が大人とは違う、大学生の今だからこそできる、心の通った支援に取り組んでまいります。



当日は、岡本副会長、野田会員、原会員も学生に交じって後半のディスカッションまで参加され『今まで犯罪被害者の遺族として親御さんの話を聞くことはあったが他人、隣人の立場で見守られてきた方の話は初めてであり、行政的に行われている犯罪被害者支援策において未成年者である被害者遺族の兄弟姉妹の存在が見過ごされていることに気づくと同時に学生たちもこれまで「あした彩」が行ってきた子どもたちに寄り添った支援活動がとても意義深いものであり、自ら（あした彩）の存在価値を見い出すことができた大変有意義な講演だった』との感想を寄せられています。犯罪被害者支援の意義を理解するには、こういった講演会に参加して直接犯罪被害に遭われた方々の生の声を聴くことが早道かと思えます。今後は、こうした講演会などの予定もお知らせしていきますので、一度は足を運んでいただき「あした彩」への支援活動にご理解をいただければ幸いです。